



令和2年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和元年12月10日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東
コード番号 9636 URL <https://www.kin-ei.co.jp>
代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)田中 耕造
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)好井 裕一 (TEL)06(6632)4553
四半期報告書提出予定日 令和元年12月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年1月期第3四半期の業績(平成31年2月1日～令和元年10月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年1月期第3四半期	2,991	10.8	251	29.9	253	26.8	171	27.5
31年1月期第3四半期	2,698	△0.2	193	6.6	200	9.9	134	16.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年1月期第3四半期	61.42	—
31年1月期第3四半期	48.16	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年1月期第3四半期	5,722	2,155	37.7
31年1月期	6,170	2,012	32.6

(参考) 自己資本 2年1月期第3四半期 2,155百万円 31年1月期 2,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2年1月期	—	0.00	—	—	—
2年1月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年1月期の業績予想(平成31年2月1日～令和2年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,690	2.0	210	6.9	210	3.2	120	1.8	43.03

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年1月期3Q	2,821,000株	31年1月期	2,821,000株
② 期末自己株式数	2年1月期3Q	32,140株	31年1月期	32,135株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年1月期3Q	2,788,863株	31年1月期3Q	2,789,057株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費の緩やかな回復が続いた一方、台風や大雨等の自然災害や消費増税などの懸念材料もあり、先行き不安定感が残る状況で推移しました。

この間当社におきましては、事業全般に亘って顧客満足度のより高いサービスの提供に努めるとともに、部門別業績管理のさらなる徹底を図り、集客と収入の確保に努めました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業部門におきましては、映画では、“天気の子”“アラジン”“名探偵コナン”“トイ・ストーリー4”“キングダム”“ONE PIECE STAMPEDE”“アベンジャーズ/エンドゲーム”“ライオン・キング”“ドラえもん”“ジョーカー”などの話題作品を上映して観客誘致に努めました。また、映画会員制度「アポロシネマメンバーズ」の会員獲得に努めるなど積極的な広告宣伝活動や販売促進活動を展開しました結果、娯楽場部門を含めたこの部門全体の収入合計は1,615,679千円（前年同期比18.7%増）となり、営業原価控除後のセグメント利益におきましても149,244千円（前年同期比76.6%増）となりました。

不動産事業部門におきましては、アポロ・ルシアス両ビルの各所における諸整備工事を計画的に実施し、より快適で安全なビルづくりを推進しました。また、劇場事業と連携した誘客活動を進めるとともに、賃貸収入の確保に向けて、ビル入居率の維持・向上を図るため、空室部分への後継テナント誘致に注力し、期間を通じて高いビル入居率を維持しました結果、駐車場収入等ビル付帯事業並びにその他の事業を含めたこのセグメント全体の収入合計は1,375,421千円（前年同期比2.9%増）となり、セグメント利益につきましては323,067千円（前年同期比0.4%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は、2,991,100千円（前年同期比10.8%増）となり、費用の面におきましては全社において諸経費全般に亘って鋭意削減に努めました結果、営業利益は251,266千円（前年同期比29.9%増）となり、経常利益は253,651千円（前年同期比26.8%増）、四半期純利益は171,295千円（前年同期比27.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、固定資産の減価償却等により前期末に比較して447,985千円減少し、5,722,357千円となりました。負債は、設備関係未払金の減少等により、前期末に比較して591,384千円減少し、3,566,494千円となりました。純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したため、前期末に比較して143,399千円増加し、2,155,863千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年1月期の業績予想につきましては、令和元年9月12日に「令和2年1月期 第2四半期決算短信（非連結）」にて公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年1月31日)	当第3四半期会計期間 (令和元年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	95,189	86,477
売掛金	121,138	106,199
商品	4,029	4,051
その他	846,993	583,812
流動資産合計	1,067,351	780,540
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,982,837	2,731,425
機械及び装置（純額）	44,115	37,760
工具、器具及び備品（純額）	65,463	86,508
土地	1,123,748	1,123,748
建設仮勘定	4,809	4,196
有形固定資産合計	4,220,973	3,983,639
無形固定資産	38,511	107,874
投資その他の資産		
差入保証金	801,085	803,660
その他	42,420	46,642
投資その他の資産合計	843,505	850,303
固定資産合計	5,102,991	4,941,816
資産合計	6,170,342	5,722,357
負債の部		
流動負債		
買掛金	124,688	121,583
短期借入金	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	-	37,500
未払法人税等	34,571	59,348
賞与引当金	12,100	32,900
その他	1,187,223	549,199
流動負債合計	1,608,583	1,050,532
固定負債		
長期借入金	600,000	562,500
退職給付引当金	96,296	100,496
受入保証金	1,553,885	1,559,041
資産除去債務	290,000	290,000
その他	9,113	3,924
固定負債合計	2,549,295	2,515,961
負債合計	4,157,878	3,566,494

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年1月31日)	当第3四半期会計期間 (令和元年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,532,353	1,675,760
自己株式	△109,935	△109,953
株主資本合計	2,010,773	2,154,162
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,690	1,700
評価・換算差額等合計	1,690	1,700
純資産合計	2,012,463	2,155,863
負債純資産合計	6,170,342	5,722,357

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成31年2月1日 至令和元年10月31日)
売上高	2,698,454	2,991,100
営業原価	2,289,468	2,518,788
営業総利益	408,986	472,311
一般管理費	215,595	221,045
営業利益	193,390	251,266
営業外収益		
受取利息	1,052	1,658
受取配当金	138	124
違約金収入	8,226	6,390
雑収入	617	1,799
営業外収益合計	10,034	9,973
営業外費用		
支払利息	3,408	7,582
雑支出	4	6
営業外費用合計	3,413	7,588
経常利益	200,011	253,651
特別利益		
国庫補助金	-	79,055
特別利益合計	-	79,055
特別損失		
固定資産除却損	4,632	6,793
固定資産圧縮損	-	78,066
特別損失合計	4,632	84,860
税引前四半期純利益	195,379	247,845
法人税、住民税及び事業税	78,126	88,803
法人税等調整額	△17,061	△12,253
法人税等合計	61,064	76,549
四半期純利益	134,314	171,295

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(平成30年2月1日から平成30年10月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,361,499	1,336,954	2,698,454	—	2,698,454
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,361,499	1,336,954	2,698,454	—	2,698,454
セグメント利益	84,488	324,497	408,986	△215,595	193,390

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(平成31年2月1日から令和元年10月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,615,679	1,375,421	2,991,100	—	2,991,100
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,615,679	1,375,421	2,991,100	—	2,991,100
セグメント利益	149,244	323,067	472,311	△221,045	251,266

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。